

辺野古土砂北九州

発行…2021年1月・No.14

今年もよろしくお願ひいたします

(世話人一同)



2020年12月28日…もう御用納めだというのに、今日もミキサー車やダンプトラックの進入が続いた。12月13日の朝日新聞は、「首相官邸では毎週月曜、防衛、国土交通、法務各省の担当者が集まる会議が開かれている。和泉洋人首相補佐官がその場で、日々の土砂の投入量を細かくチェック。「知恵をしぼれ」と叱咤(しった)するという」と報じたが、防衛局も焦っているのだろう。(チョイさんの沖縄日記より)

《目次》

野党連合政権が実現すれば辺野古ストップの展望が開ける(早坂義郎)・	2 ページ
【日本の基地】馬毛島「米軍の戦略に風穴を」(迫川浩英)・	5 ページ
【エッセイ】「人間は働いて、農業して食べるのが本当よ」(浦島悦子)・	8 ページ
【地位協定・合同委員会・安保を学ぶ天久学習会】第5・6章まとめ・	9 ページ
今後の予定等・	12 ページ

写真提供…早坂義郎・迫川浩英・その他(敬称略)

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会



野党連合政権が実現すれば 辺野古新基地建設中止の展望が開ける

新基地建設反対名護共同センター 早坂義郎

■えーっ、たった3行?!

わずか3行だったことに、市議会の野党議員だけでなく、多くの市民が驚きました。渡具知武豊名護市長による、沖縄防衛局の辺野古新基地建設設計変更申請について沖縄県知事への「意見」です。その要点は「埋立区域から名護市辺野古地区地先を削除する用途の変更については、異議はない」という、無責任極まりないものだったからです。

■改めて感謝と尊敬の念を

7年前も同じように、沖縄県から名護市に対して意見を求められました。当時の防衛局が辺野古新基地建設のために、公有水面埋立承認申請を提出した際の、仲井真弘多知事に対する稲嶺進名護市長の意見書です。この時の稲嶺市長の「意見書」と、今回の渡具知市長の「意見書」との格差は衝撃的です。

「海にも陸にも新基地は造らせません」と公約し初当選した稲嶺市長の「意見書」は

「埋立承認をしないよう」に求める内容です。その内容は市民の安全、環境保全など総合的な観点から、新基地建設の問題点を指摘した2万2000字以上もある「大論文」でした。

今回筆者は、この意見書を読み返してみ、市民の命と安全・安心を守る立場である市長なら、かくあるべきだと、納得と感動で受け止め、当時の稲嶺市長の姿勢に、改めて感謝と敬意の念を抱きました。

■渡具知市長の意見書、議会で否決

なお、渡具知市長が提案した「異議はない」とする意見は、名護市12月議会で、賛成少数で否決されました。市長意見の回答期限は今年3月までで、渡具知市長は次の市議会で再提出するかについては「内部で検討したい」と述べるに留めています。

■官房長官が主導した前名護市長選挙

今回の「意見」(案)が出された背景には、



渡具知市長の「意見書」への緊急抗議集会(名護市役所前広場で12月21日)

3年前の2018年2月の名護市長選挙の結果があります。

当時の安倍政権の菅官房長官が、沖縄に3回も乗り込み、「辺野古の争点隠し」、「公明党・創価学会グループを取り込んでの稲嶺市政に対するデマ宣伝」、「自民党国会議員らによるローラー作戦」という、彼らの「勝利の方程式」で陣頭指揮したのです。この選挙で菅長官は、領収書不要の“つかみ金”である官邸機密費を、ふんだんに使ったであろうことは容易に想像できます。

そのもとで渡具知氏は選挙中、辺野古移設に対する賛否を明言せず「国と県が係争中の裁判を注視していく」と語るのみだったのです。同時に、稲嶺市政を「移設阻止にこだわり過ぎている」などと批判し、基地受け入れの見返りの振興資金を財源とした、教育や福祉の充実など訴えて、有権者の支持を集めたのでした。こうした背景で、稲嶺市長の三選が阻まれました。

この時、菅義偉官房長官は「選挙は結果が全てだ」などと述べ、そして名護市政は「菅官邸の出先」へと変貌してしまったのです。

■揺るぎない「新基地ノー」の民意

安倍政権はこの勝利を、錦の御旗を得たとばかりに「基地移設を容認する民意」と捉え、2018年12月からの埋め立て開始など移設工事を加速させてきました。しかし、県民と名護市民の「辺野古新基地反対の民意」は強まることはあっても薄れることはありません。

2018年9月の知事選で玉城デニー知事が自公維候補に圧勝、2019年2月の県民投票では「辺野古埋め立て反対」に72%の県民が投票など、県民の「辺野古反対」の民意は、沖縄県全体はもちろん、名護市民の中でも揺るぎないことが示されてきました。

そして今、この民意が「防衛省による軟弱地盤改良に伴う設計概要変更申請」を「不承認」とするであろうデニー知事を支え

ています。今回の沖縄県知事への「意見書」には、利害関係者とされる全国の個人や団体から、1万7857件もの意見書が寄せられました。

このうち、名護市の住民や団体からの意見は579件で、そのすべてが「否定的な意見」だったのです。意見の内容については、「工事・設計図書」が最も多く428件、「自然・環境」が330件、「アメリカ軍基地」が294件などとなっています。このうち、「工事・設計図書」に関する意見では、「基地建設は不可能です」「膨大な税金の投入は不当である」などの声が上がっていました。



防衛省の、軟弱地盤改良に伴う設計概要変更申請書

■「オール沖縄」の勝利で野党連合政権を

いま、安倍政権を継いだ菅政権への支持率は急降下しています。この下で今年から来年にかけて沖縄では選挙戦が相次ぎます。

宮古島市長選(投票日1月17日)、浦添市長選(同2月7日)、うるま市長選(同4月25日)があり、いずれも「オール沖縄」の候補と自民党候補との一騎打ちでたたかわれます。もう、彼らの「勝利の方程式」などというだましの手口が通用しないことは、2年まえの県知事選や、那覇市長選結果が示しています。

浦添市など3市長選で「オール沖縄」候補が勝利するなら、10月までに必ず実施される総選挙で、沖縄県小選挙区の1区から4区までの「オール沖縄」候補全員勝利への跳躍台となります。

全国的には市民と野党の共闘をいっそう発展し、総選挙で野党統一候補の勝利をめざす流れができつつあります。総選挙で自公両党と維新を少数に追い込めば、政権交代を実現することができます。

19年5月には、市民連合と5野党・会派の「共通政策」の中で、「辺野古新基地建設の中止、普天間基地の早期返還・撤去、日米地位協定の改定」なども合意されています。野党連合政権が実現すれば、辺野古新基地建設を中止させる展望を開くことができるのです。それはまた、2022年の名護市長選で「オール名護」が市政を奪還し、沖縄県知事選でデニー知事を再選させる土台を築くこととなるでしょう。

■本土復帰50年の節目は

さらに来年は、沖縄が本土に復帰して50

年目に当たります。復帰から半世紀過ぎ、世界の流れが対立から平和と対話へと大きく変化している中で、沖縄には在日米軍基地の70%が集中したままです。その上、米軍のために完成する見通しもない辺野古新基地の建設強行や、浦添に残された貴重な自然の海岸線を埋め立てて、新たな軍港を建設することなどは理不尽極まりない暴挙です。

復帰50年の節目は、これらを中止させる世論を高めるチャンスです。このような、ワクワクするような新たな情勢のもとで、2021年を迎えました。コロナ禍で互いの活動が思いに任せないこともありますが、希望と展望をもって連帯を広げ、菅政権打倒をめざしともに奮闘しましょう。

(はやさかよしろう)



《左》「オール沖縄」の衆院選沖縄県小選挙区候補が「建白書の実現をめざす」と合同で記者会見（12月26日＝那覇市内）。左から赤嶺政賢氏（1区）、新垣邦男氏（2区）、屋良朝博氏（3区）、金城徹氏（4区）。《右》浦添市長選予定候補の伊礼ゆうき氏（38）の事務所開きが12月26日、同市内で行われました。伊礼氏は「軍港建設を止めて自然が残された西海岸のきれいな海を守り、子どもたちの未来に浦添、沖縄の姿を残していこう」と挨拶しました。



1月4日から、キャンプ・シュワブのゲート前や安和・琉球セメントの棧橋前、塩川港での抗議行動が再開されています。ゲート前では4日は朝・昼・午後で延べ88人、5日は延べ71人の参加。高良鉄美参院議員（写真右側）も駆けつけ、県民と共に座り込み、抗議の声をあげました。新年から民間の警備担当がテイケイからALSOKに交代、全員がマスク着用しています。

自衛隊を対中戦争に組み込もうとする 米軍の戦略に風穴を

馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会 事務局次長 迫川浩英

■恒久的使用が前提

いま、私たちの住む種子島は、米軍空母艦載機の連続離発着訓練FCLPに恒久的に使用することを前提とした、自衛隊基地建設に揺れています。

FCLPは、戦闘機が数分間隔でタッチアンドゴーを深夜まで繰り返すため、大変な騒音と事故の危険性を伴います。そのため現在は、空母艦載機が配備されている岩国基地から1400km離れた無人島である硫黄島で行われているのですが、米軍が近くの訓練場を要求してきたことから、西之表市にある馬毛島が候補地とされたのです。

■1日200～300回、深夜3時まで

馬毛島においても、米軍FCLPは硫黄島と同じく、深夜3時まで実施することが計画されています。少なくとも半径250km圏内には人が住んでいない硫黄島と違い、馬毛島はわずか10kmに約1万5千人が住む西之表市、全島で3万人が住む種子島があります。そういうところで、1日200～300回、10日間で2000～3000回ものタッチアンドゴーを、日中から深夜3時まで行うというのです。住民の命や人権を軽視する

米軍要求を受け入れ、強引に基地建設を進めようとしている日本政府にも怒りが湧いてきます。

■3施設が一体となった初めての基地

騒音と事故に不安を訴える住民に対し、防衛省は、戦闘機は種子島の上空を飛ばないし、FCLPには訓練空域はないので影響は限定的で小さいと説明しています。

しかし、同じ防衛省が、2008年に、米軍FCLPの訓練空域は馬毛島を中心に最大半径45km、との説明を当時の熊毛1市3町の首長に行い、そのことが当時の新聞記事として残っています。自分たちに都合の悪い情報を隠す防衛省の体質が、馬毛島でも表れています。

また、島嶼防衛においては、事前集積基地及び陸海空自の集結拠点との位置づけがされている馬毛島は、訓練施設、飛行場、港湾施設が一体となった初めての基地になろうとしています。

■全国から303,523筆署名が

示された訓練内容は、米軍FCLPに加え、各種自衛隊機のFCLPやF35Bの発着艦



2019年1月21日、防衛副大臣の市長説明に市民120人が集り抗議(市役所構内にて)

訓練、機動展開訓練、迎撃ミサイル訓練、オスプレイも使う水陸機動団の各種訓練など、陸・海・空自衛隊の様々な訓練が予定されています。

馬毛島には自衛隊の補給艦や輸送艦、さらには米軍も利用する軍港まで造られようとしており、そのための海上ボーリング調査が、実際に馬毛島で漁を行う漁師の反対を無視して始められ、反対派の漁師さんたちは差し止め訴訟を起こしています。

私たちは、昨年1月から署名活動にとり組み、11月16日には全国から寄せられた303,523筆(内、西之表市内6142筆人口比4割)の署名を防衛省に提出しました。その際は、野党(立憲民主党・共産党・社民党)の国会議員と一緒に防衛省へのヒアリングや、院内集会、報告会なども開催しています。

■空気を一変させた高校生の発言

一方、防衛省による住民説明会が、10月29日から12月6日にかけて、西之表市内各地で開催されました。私たちも積極的に参加し、米軍の訓練は深夜3時まで実施されること、戦闘機が種子島上空を飛ばない保証はないこと、住民同意がないままで基地建設を進めるつもりかなど、様々な角度から連日追求しました。

特筆すべきは、高校生の参加です。「馬毛島にできるのは軍事基地。影響を受けるのは僕たち学生や子供たち。種子島の豊かさは自然や人でありそれを守ることが種子島が続くことになる。だから基地には反対します。」と訴えたひとりの高校生の発言は会場の空気を一変させます。

高校生の参加は、翌日は3人、翌々日は12人と増え、2人の教職員も随伴して参加するようになりました。

住民説明会は防衛省説明の矛盾をいくつも表面化させることができ、説明会終了後に、不明な点について、私たちや他の団体で共同して防衛省に質問書を提出し、いま回答待ちの状態です。

しかしながら、馬毛島基地化は、官邸主

導で辺野古米軍関連予算を流用するなど、強引にすすめられようとしています。

この状況下で、今月31日、西之表市長と市議会議員の同日選挙が実施されます。この選挙が最大の山場になることは間違いありません。

私たちは、住民説明会で明らかになった問題点をチラシにし、市内全戸配布を昨年内に完了して、残り期間を選挙に集中することになっています。

■米CNNは…

馬毛島は、いまや極東最大の米軍航空基地となった岩国に近く、米軍が恒久的に利用することが前提となっていることから、今後、新たな米軍の拠点として利用される可能性が指摘されています。米CNNは、1昨年12月13日、「馬毛島が将来、米海軍の不沈空母として利用される日がくるかもしれない」と報じました。

自衛隊出身者や自衛隊家族が多い種子島においても、米軍はダメという過半数を間違いなく超える市民に依拠し、馬毛島の基地化を止めたいと考えています。そのことが、自衛隊を対中戦争に組み込もうとする米軍の戦略に風穴を開けることにもつながるのではと思います。(さこがわひろひで)



馬毛島全景(出典・国土地理院)



【2021年1月31日が投票日】
市長が同意した瞬間に基地建設は決まります。市長・議会議員選挙は反対する候補に。



連絡会の昨年のニュースの一部から

「馬毛島における施設整備」防衛省・自衛隊」から転載

実施する可能性のある主な自衛隊の訓練



連続離着陸訓練
(F-35.F-15.F-2 等)



模擬艦艇発着艦訓練
(F-35B)



不整地着陸訓練
(C-130)



機動展開訓練
(F-35.F-15.F-2.
KC-767.C-2 等)



エアクッション艇
操縦訓練



離着水訓練及び
救難訓練(US-2)



水陸両用訓練
(AAV.エアクッション艇等)



究明生存訓練



ヘリコプター等からの
展開訓練
(CH-47.V-22)



空挺降下訓練



災害対処訓練
(UH-60)



PAC-3 機動展開訓練

※上記は、現時点でのイメージであり、上記以外の装備品を使用した訓練を行う可能性があります。各訓練の実施時期・期間・規模等については、各自衛隊の計画の中で検討されます。

「人間は働いて、農業して食べるのが本当よ」

宮里弘子さん(3)

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



沖縄の古い集落はたいてい、御嶽(うたき)と呼ばれる聖域を持っている。そこは集落の発祥の地とも言われ、最初に住み着いたと思われる祖先が神となってシマ(集落)と人々を守っている。御嶽はうっそうとした森や木立に囲まれ、かつては、特定の時期あるいはカミンチュ(神人)以外は立ち入り禁止になっていた。禁を破ると神罰が下ると恐れられ、それによって自然が守られてきたのは、日本の神社の鎮守の森にも通じる。

宮里弘子さんの住む大浦の御嶽は、現集落から少し離れた、大浦湾を見下ろす小高い山にある。沖縄戦時、大浦集落に駐屯していた日本軍は、大浦御嶽の豊かに繁る木々に目を付けた。当時の日本軍は負け戦の中で燃料もなく、住民を動員して焼かせた木炭を車の燃料として使っていた。御嶽の木々を伐採するよう日本軍から命じられた当時の大浦区長は「神罰が当たる」と断ったものの、天皇を「神」とする日本軍には通じない。銃剣で脅され、とうとう抵抗しきれなくなって伐採を許可してしまったという。

「この区長はね、それから間もなく病気になって死んでしまった。罰が当たったんだよ」と弘子さんは言ったが、私はどうにも納得がいかない。「なぜ神さまは、かわいそうな区長を罰して日本軍を罰しないのだろう…。不公平じゃない？」そんなことをぶつぶつ呟いていると、弘子さんが言った、「日本軍もみんな死んだはずよ」。

弘子さんの次男は数え 19 歳で護郷隊(ごきょうたい)に駆り出され、本部半島の真部山(まぶやま)で戦死した。護郷隊とは大本営直轄の秘密部隊で、陸軍中野学

校出身の将校のもとに土地勘のある地元若者を動員したゲリラ部隊だ。

戦死を知った弘子さんは、まだ戦闘中の危険を冒して現地まで遺体を探しに行った。「真部山は麓から頂上まで遺体で埋め尽くされていたよ…」 その中からやっと探し当てた次男は、名護湾からの艦砲射撃で吹き飛ばされたうえ、頭に大きな石が当たったのが死因だったという。

「『お国のため』と言いながら、隊長たちは逃げて生き残って、子どもたちを戦死させたんだ。弾もないのに、早く降参すればいいのに、人の子どもたちを、沖縄を犠牲にして、人民を苦しめて、大将たちバカであったな…。親にとってはこんなに大事な子なのに、犬死させて…。戦争は絶対ダメ!!!」

私「世の中、また戦争しそうになっているよ。新しい基地も造ろうとしているし」

弘子「絶対反対しないとダメよ。自分たちはもう長くないけど、基地なんか造らせたならクーマガ(子孫)がアフリ(哀れ)するよ。どこまでも反対しないと!」

私「基地を造ったらお金を上げるとか、基地で儲かるとか言ってるけど」

弘子「一時は儲かってもすぐさびれるよ。人間は働いて、農業して食べるのが本当よ」

土砂運搬船の並ぶ大浦湾を見ながら、私は十数年前の弘子さんとのやりとりを思い出す。今は御嶽の神さまの一員として、大浦湾と私たちを見守ってくれているかな…。「地元が反対すれば基地はできないよ」という弘子さんの言葉を胸に、今年も頑張っていきたい。(うらしまえつこ)

日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約 《天久学習会》No.6 報告



12月12日(土)の
学習会の内容を、講師の天久先生に
まとめていただきました。

第5章…「思いやり予算」の膨張-「援助」の拡大解釈

第6章…冷戦以後の伊独の地位協定-国内法適用を求めて

弁護士 天久 泰

前回第4章では、72年の沖縄施政権返還前後の在沖米軍の拡大や、「全島基地方式」と民用地を使用する訓練が非公表の「五・一五メモ」で維持されてしまったこと、田中角栄内閣下で米国から膨大な駐留経費要求を受け、大幅な譲歩を許す「大平答弁」がなされたこと等を確認しました

《1》「思いやり予算」の起源

「思いやり予算」とは、在日米軍駐留経費のうち日米地位協定に規定のない日本の負担を指します。69年11月、沖縄返還に伴い4億6800万ドルを日本側から米側に支払う秘密の了解覚書が交わされた。米側は、そのうちの施設修繕費6500万ドルについて、沖縄に限らない日本本土の米軍基地にも使用することを求め、これが「思いやり予算」の起源であるとする研究者もいます。

他方で、米軍基地内労働者の社会保障費についても日本側に押し付けられました。これも「思いやり予算」の誕生につながっていきました。

76年以降、米側は「思いやり予算」の負担を公然と主張し、78年から日本政府の予算にも計上されることに。背景には日本国内の物価上昇に伴う労務費増大がありました。日米安全保障問題で発言力を高めたい防衛庁は負担受け容れ

に肯定的でした。

77年末の日米合同委員会で、基地労働者の労務費中61億円余りを日本側が負担することで合意しました。

外務省による前記「大平答弁」の拡大解釈と、78年6月の金丸信防衛庁長官の「思いやり」答弁(これが「思いやり予算」の語源。)に基づく日米地位協定24条の解釈変更が行われ、その後の日本側の負担増大の基礎を築いてしまいました。

《2》「思いやり予算」の膨張

米側は、米国内の不況(79年の第2次オイルショック)、対日貿易赤字(85年プラザ合意)を理由に、日本側へのさらなる在日米軍の駐留費負担を求めました。米側の要請を受け、86年に中曽根内閣は労務費の特別協定を創設しました。

「思いやり予算」は78年から86年に

かけて約13倍の額となり、ピークである99年度までに44倍に膨張。労務費特別協定改正による日本側負担の上限緩和、負担項目の増加が原因でした。

89年12月、米ソの冷戦終結宣言。これにより在日米軍のプレゼンスも低下するかに思われたが、90年8月には湾岸戦争が勃発。91年1月には在日米軍駐留経費特別協定が締結されました。

96年以降、「思いやり予算」とは別に、米兵による少女暴行事件を端緒とするSACO関連経費、米軍再編関係経費が加わり、沖縄の基地負担軽減の目的で日本側の負担が増大するという状況が生じています。

《3》独伊の地位協定

ドイツ・イタリアにもアメリカを含むNATOが指揮する軍隊が駐留しており、NATO軍の地位に関する協定が存在します。

ドイツでは、89年11月の東西統一、2つの深刻なNATO軍の事故のほか、NATO軍の域外派遣(NATO加盟国外への軍隊派遣)に積極的なコール首相を援護する必要性等の事情から、NATO軍地位協定・補足協定の改正がドイツ側に有利に進んだという経緯がありました。

また、協定の改正交渉は、互惠性、つまり同盟国が互いに法的に対等な関係にあることを原則としています(日米地位協定とは根本的に異なる点であると思われます)。そのため、基地外部での駐留軍の訓練がドイツ政府の同意なしに行えなくなる、空域訓練・基地内の訓練駐留軍の国内の移動についても国内法の適用・遵守を認めるなどが改正の成果として表れました。もっとも、裁判管轄権については日米地位協定と同程度にとどまっています、今後の改善が待たれているようです。

イタリアは、47年には主権を回復し、

対等な立場でNATO軍に参加しました。54年に米軍常駐に関する非公表の二国間協定が結ばれ、その結果核兵器が持ち込まれました。イタリア国内の反発によりNATO軍の域外派兵には消極的な態度をとり続けています。95年締結の了解覚書付属文書により、在伊米軍基地の管理権は、平時に限定してですがイタリア軍にあります(有事にはNATO軍に管理権あり)。駐留米軍関係経費は、イタリアに管理権があることから原則としてイタリアが負担しています。

《4》本章の感想

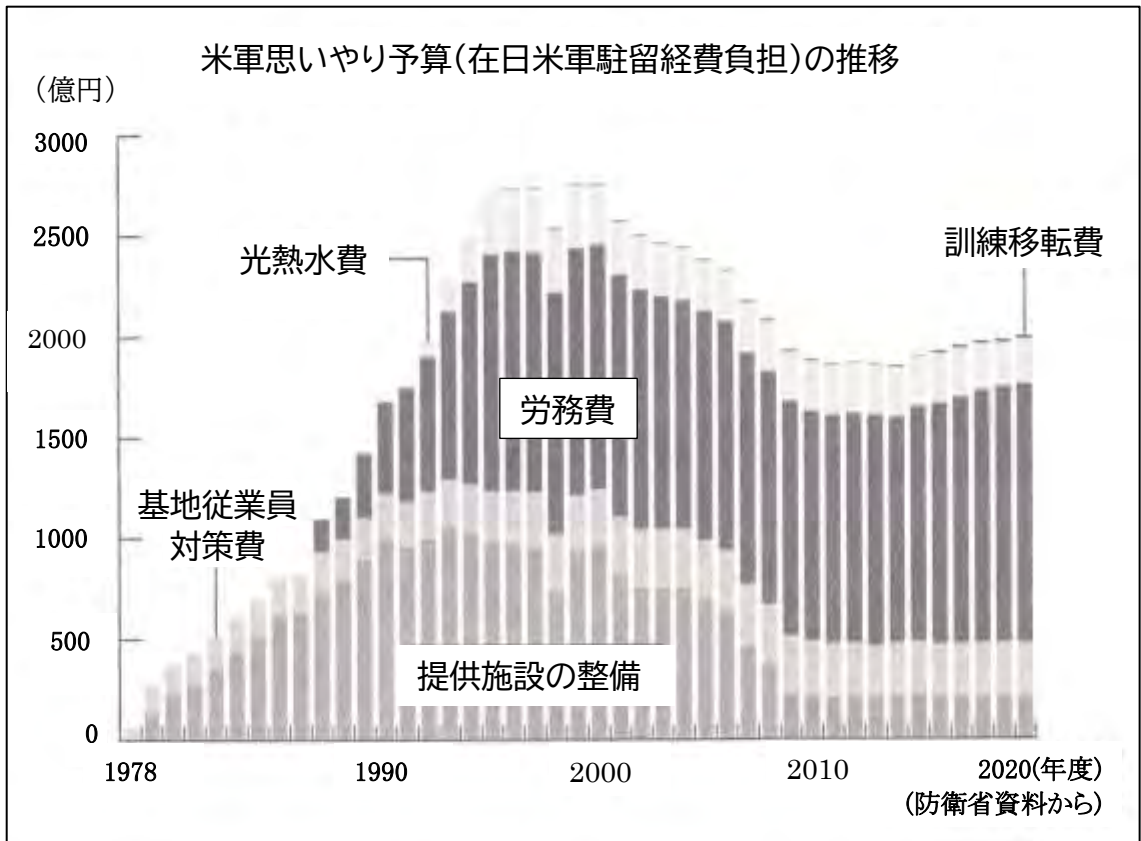
思いやり予算の誕生と急増について、まさに日本という国を売り渡した当時の与党政治家の体たらくに腹立たしい限りです。米国への属国の度合いをここまで深めてしまった原因は具体的にどこにあったのだろうと、さらに当時の日米間の交渉過程について勉強したくなる内容でした。

ドイツ・イタリアに関しては、政治状況等の事情が異なるために一概に比較できないかもしれません。しかし、特にドイツでは悲惨な軍用機事故が一つの転機となって地位協定改正が進んでおり、日本、特に沖縄における同様の事故が根本的な基地負担軽減になぜつながらないのかが不思議でなりません。日本の政治が、沖縄の基地負担を、沖縄外の国民に見えなくしているとしたかと思えません。

(あめくやすし)



上方は米海兵隊岩国基地。手前は愛宕山地区に完成した米軍住宅。一戸あたりの建設費は七、八千万円という。写真は中国新聞より



2020年度の思いやり予算は、計1993億円。1978年当初よりも大幅に増額されています。また、1995～2000年頃比べると減っているように見えますが、96年以降、日本側は思いやり予算とは別に「米軍再編関係経費」(2020年度予算1,799億円)やSACO関連経費(2020年度予算138億円)を負担しています。思いやり予算が減ったからと言って、日本政府の在日米軍関連予算が減ったわけではありません。

終章…2月13日(土)

【日米地位協定の行方-改定の条件とは】

リモート&西小倉市民センター(予定)

リモート参加希望の方は、下記アドレスまでお知らせください。

前日に「招待」を送ります。

八記久美子…kanpanerura888k@gmail.com

*

会場参加希望の方は下記までお電話ください。

コロナで中止になった場合連絡をします。

藤堂均…090-6299-2608



《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 1月22日(金)…《小倉駅街頭宣伝》16時30分～17時30分
- 2月03日(水)…《第6回世話人会》19時～ zoom会議
- 2月10日(水)…《会報発行作業》13時～ 生涯学習総合センター(小倉北区大門)
- 2月13日(土)…《天久学習会・終章》10時～11時30分 西小倉市民センター(予定)
- 2月27日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時

＊

■馬毛島の署名を同封しています。署名の取り組みは、当分の間継続されるそうです。みなさんのご協力をお願いします。

＊

■「さよなら原発! 3.11 北九州集会」

福島事故 10年 演奏と講演の夕べ

- ・3月11日(木)18時30分～ ソレイユホール
- ・感染対策のため、入場には整理券が必要です。参加料は無料(集会賛同費で運用)。
- ・主催…さよなら原発!3.11 実行委員会 深江守(090-9478-6195)

《「辺野古土砂北九州」の口座》

【辺野古土砂北九州の口座は】ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911
【他金融機関から振り込む場合は】ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911
加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」
【お問い合わせ】大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。



- ※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。
- ※振込による入金につきましては、特にお申し出のない限り、領収書の発行は省略させていただいています。
- ※退会希望の方も、大野まで

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方
八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608
kanpanerura888k@gmail.com (20年9月からアドレス変更)